

・アジア: 東南アジアでのデング熱流行状況

今年は東南アジア各地でデング熱の患者数が昨年より増加しています。マレーシアでは 4 月上旬までの患者数が 3 万 8000 人にのぼっており、首都クアラルンプール周辺での発生が多くなっています (Outbreak News Today 2019-4-7)。シンガポールでは 3 月下旬までに、昨年同期の 4 倍にあたる 2000 人の患者が確認されました (ProMED 2019-4-17)。フィリピンの患者数も 3 月下旬までに 5 万 5000 人にのぼっており、昨年同期の 1.8 倍の数です (Outbreak News Today 2019-4-12)。東南アジアはこれから本格的な雨季を迎えるため、デング熱への十分な対策が必要です。

・アジア: アジアでのジカ熱流行状況

ヨーロッパ CDC がアジア各地のジカ熱の流行状況を報告しています (ECDC 2019-4-9)。インドでは 2018 年末に北西部のラジャスタン州やマディヤ・プラデーシュ州で約 280 人のジカ熱患者が確認されました。タイでは 2018 年に 560 人、2019 年は 3 月中旬までに 48 人の患者が確認されています。シンガポールでは 2018 年、2019 年ともに患者数は 1 人と少なくなっています。

・アジア: 中国で鳥インフルエンザ H7N9 型の患者が発生

中国の内モンゴルで鳥インフルエンザ H7N9 型の患者が 1 名 (82 歳男性) 確認されました (WHO Influenza 2019-4-9)。中国では 2013 年から南部を中心に H7N9 型の患者が 1500 人以上発生していますが、2018 年以降は新規患者の発生が少なくなっていました。今のところ鳥類の間での大きな流行は発生していませんが、引き続き警戒が必要です。

・アフリカ: モザンビークでコレラ流行が発生

アフリカ南部のモザンビークで 3 月中旬、サイクロンによる大規模な水害がおこりました。この影響でコレラの流行が発生しており、4 月中旬までに患者数は 5000 人以上にのぼっています (ProMED 2019-4-18)。米国 CDC は「同国への不要不急の旅行を避けるように」との勧告を出しています (米国

CDC 2019-4-5)。

・アフリカ: コンゴ民主共和国でのエボラ熱流行状況

コンゴ民主共和国の北東部で発生しているエボラ熱の流行は 4 月も続いています。4 月中旬までの累積患者数は 1290 人(死亡 833 人)で、最近 3 週間の新規患者数は 200 人以上にのぼっており、3 月に比べて増加傾向にあります(WHO Outbreak news 2019-4-18)。WHO は 4 月 12 日に緊急委員会を招集し、今回のエボラ熱の流行状況を検討しましたが、2014 年、西アフリカの流行時に発せられた「公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」には至っていないとの結論でした。

・北米: 米国で麻疹患者が多発

米国では今年になり全土で麻疹患者が増加しており、4 月中旬までに患者数は 626 人にのぼっています(米国CDC 2019-4-22)。ニューヨーク市ではブルックリンなどで患者が多発しており、4 月 9 日に公衆衛生上の緊急事態が宣言されました(外務省海外安全ホームページ 2019-4-10)。今回の米国での麻疹流行はイスラエルやフィリピンなどからの輸入例が発端になっているようです。米国に滞在する際には麻疹ワクチンの接種を検討してください。

・南米: ブラジルの蚊媒介感染症(黄熱、デング熱、ジカ熱)

ブラジルでは毎年 12 月～5 月に黄熱の流行が発生しています。過去 2 回の流行シーズンでは患者数の大幅な増加がみられましたが、今シーズン(2018 年 7 月～2019 年 3 月)は患者数が 75 人と少なくなっています((WHO Outbreak news 2019-4-18)。ただし、今シーズンも患者の多くが人口密集地のサンパウロ州で発生しており、引き続き警戒が必要です。デング熱の患者数は昨年より増加しており、今年 は 4 月上旬までに 43 万人にのぼっています(WHO-America 2019-14 週)。ジカ熱は 2018 年に 1 万 9000 人の患者が発生しましたが、今年 は 2 月末までに 2000 人とやや減少傾向にあります(ヨーロッパ CDC 2019-4-9)。